

令和元年度静岡県定置漁業協会総会

令和元年5月24日、伊東温泉ホテル暖香園（伊東市）で令和元年度静岡県定置漁業協会総会が開かれました。

総会後の記念講演では、まず当场より「伊豆東岸定置網における主要魚種の近年の漁獲動向」と題し、伊豆東岸定置網のブリ、スルメイカ等について、近年の漁獲動向や1～4月の漁況経過に関する講演を行いました。続いて水産庁資源管理部漁業調整課より太平洋クロマグロの資源管理と水産政策の改革について講演がなされ、他県定置網では漁労長を中心としたメンバーでSNSグループを作りクロマグロに関する情報共有を図っている、ユビキタス魚探を導入し網を締める前にクロマグロの入網を確認している、といった話題提供がなされました。最後に、(株)鯖や代表取締役の右田孝宜氏より、「さば」から始まるマーケットリーダーへの道と題し、「さば」に絞ったビジネス展開、それに関するさばのPR方法や販売戦略について紹介されました。

静岡県定置協会会員の間でも、現在、SNSグループによるクロマグロ入網状況についての情報交換を密に行っており、クロマグロ資源管理に対し、積極的に取り組んでいます。また、さば類は伊豆東岸定置網において最も漁獲量が多い魚種であり、PR方法や販売方法、水揚げ後の管理方法等を見直すことで、単価向上が見込める可能性もあります。現在、熱海市の網代漁業株式会社では、定置網で漁獲されたさば類の蓄養を行っており、今後の発展が期待されます。



記念講演の様子

(鈴木勇己)